

1 単元名 わくわく ふぞくっこらんど (体づくり運動)

2 目標

- 運動に進んで取り組み、順番やきまりを守って運動しようとしたり、運動する場の安全に気を付けたりしようとする。 (運動への関心・意欲・態度)
- 友達の運動の行い方を取り入れたり、新しい運動の行い方を考えたりしている。 (運動についての思考・判断)
- 自分の体を移動したり、用具を操作したりする動きができる。 (運動の技能)

3 指導にあたって (男子*人, 女子*人, 計*人)

1年生の子どもたちは中休みなど汗をかくほど元気に体を動かしている。入学したばかりということもあり、遊びの中心は学校にある雲梯や鉄棒などの遊具である。これらの遊具は、体のバランスをとる動きを身に付けることができるものであるが、体を支えきれず落下してケガをしてしまう子もいる現状がある。また、本校は様々な幼稚園や保育園から入学してきているため、子どもの運動経験に大きな開きがあることも考えられる。そこで、バランス、移動、操作にかかわる運動遊びを単位時間内に織り交ぜることを通して、動きの基盤をつかっていきたいと考え、本単元を構想した。

子どもたちはこれまでに「もんきいたうん」(鉄棒を使った運動遊び)や「にんじゃたうん」(マットを使った運動遊び)を通して、ぶら下がったり回ったりする動きを体験してきた。バランスをとる動きができるようになった喜びから、子どもたちは「運動をもっとやりたい」という思いを抱いている。この思いを学習の入り口として、「ふぞくっこらんど」をつくり、鉄棒やマットで先に学習したバランスにかかわる動きに加えて、今後学習していく運動に結び付いていく移動や操作にかかわる動きを織り交ぜていく。そして、この「ふぞくっこらんど」を今後の授業の主教材と関連させながら変更し積み重ねていくことで、1年生の子どもたちでも自分達で活動の場を準備したり、工夫したりすることができるようにしていきたいと考えた。

そして、今回新しく加える運動として、「こびいたうん」(体づくり運動)を取り入れ、移動や操作にかかわる動きが身に付くようにしていく。こびいたうんに進んできた4, 5人のグループの1人が地面に置かれているカードをめくり、へびと書かれていたらへびの動きを考えて次のたうんまで移動していく。そして同じグループの友達は、その動きを真似しながら次の場所へと移動していく。最初は簡単な動きを提案し、次第に動きを組み合わせたり、用具を操作する動きを取り入れたりしていく。自分と同じ動きをしてくれる友達がいることに喜びが「わく」子どもや、友達の考える動きに興味「わく」子どもたちの姿が期待できる。このような「わくわく」する学習活動を展開していくことで、みんな「ふぞくっこらんど」をつくりながら、自ら進んで運動に取り組んでいこうとする子どもの姿に迫っていきたい。

4 単元の評価規準

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能
学 習 活 動	①体づくり運動に◎進んで取り組もうとしている。 ②◎いつも運動の順番や約束を守り、友達と仲良く運動	①バランス・移動・操作にかんする運動遊びの行い方を知り、◎工夫して運動の行い方や用具の使い方を選ん	①◎バランスを保ちながら自分の体を移動する動きができる。 ②◎バランスを保ちながら用

に即した評価基準	しようとしている。	でいる。	具を操作する動きができる。
	③◎いつも運動をする場の安全に気を配り、運動しようとしている。	②友達のよい動きを見つけて◎真似している。	

◎は十分に満足できる状況

5 指導と評価計画（9時間扱い）

段階	時間	学習のねらいと活動	評価計画			
			関	思	技	
はじめ	1	○ ふぞくっこらんどで技を見せ合う。 1 準備運動をする。 2 できるようになった技を紹介する方法を考える。	①			
	2	3 鉄棒やマットでできるようになった技を見せ合う。 4 友達の真似をしたり、新しい動きを考えたりする。			②	
なか①	3	○ ふぞくっこらんどにこぴいたうんを加える。 1 「お話体操」をする。	②			
	④	2 本時のねらいを確認する。 3 グループでふぞくっこらんどをまわる。			①	
	5	4 本時の学習を振り返り、片付けをする。			①	
	6					①
なか②	7	○ グループで用具を操作する動きを考える。 1 「お話体操」をする。 2 本時のねらいを確認する。		①		
	8	3 グループで用具を操作する動きを考え、ふぞくっこらんどに加える。 4 本時の学習を振り返り、片付けをする。			②	
まとめ	9	○ ふぞくっこらんどに幼稚園生を招待する。 1 ふぞくっこらんどの準備を整える。 2 幼稚園生と一緒に準備運動を行う。 3 幼稚園生と一緒にふぞくっこらんどを回る。 4 単元の学習を振り返る。	③			

6 本時の学習



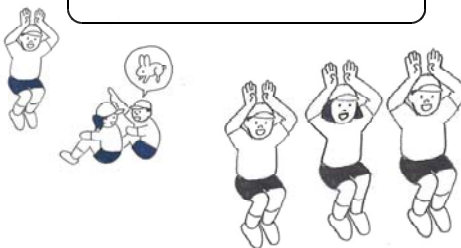
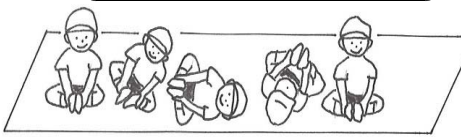
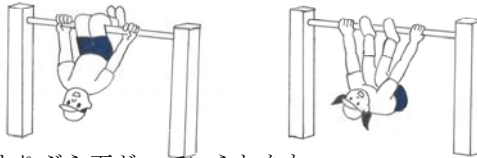
(1) 本時の目標

- 友達の考えた動きを真似したり、動きを組み合わせたりすることを楽しみながら、移動にかかわる動きを身に付けることができる。(運動についての思考・判断)

(2) 準備・資料

動物のカード、カラーコーン、マット

(3) 展開 (4/9)

	学習内容・活動	※見取りと働きかけ (評価は )
はじめ 7分	<p>1 準備運動を行い、めあてを確かめる。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>どんなうごきがわくわくするかな</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・動物のまねは分かりやすいよね ・今日は新しくカードが増えたみたいだよ 	<p>※見取りと働きかけ (評価は )</p> <p>※準備運動は「お話体操」を行い、動きのイメージを広げて本時に入れるようにする。</p> <p>※前時に行った活動に加えるカードを1枚だけ取り上げ、新しいカードにも挑戦しようとする思いを高めていく。</p>
なか 30分	<p>2 グループでわくわくする動きを見付ける。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>こぴいたうん</p> </div>  <ul style="list-style-type: none"> ・動物の動きはおもしろいね ・こんな大きなゾウができるかな ・〇〇さんの動き方すごいな <p>※動きの速度や大きさが変わるようなカードを準備することで、発想豊かに活動できるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>にんじゃたうん</p> </div>  <ul style="list-style-type: none"> ・おにぎりも形によって回り方が変わるよね ・スピードを変えるといいんじゃないかな 	<p>※4, 5人のグループを作っておき、そのグループで各たうんを回るようにする。</p> <p>※動きのアイデアがわいてこないときにはカードを選び直してもよいことを伝え、活動が滞らないようにする。</p> <p>※友達が考えた動きを答えてから移動するというゲーム性をもたせることで、グループで動きの一体感を高められるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p>もんきいたうん</p> </div>  <ul style="list-style-type: none"> ・前よりぶら下がっていられたね ・「なまけもの」っていうふら下がり方が思いついたよ <p>※ぶら下がり方ができるようになってきたら体を振るように声をかけていく。</p> <p>※イラストに加えてオノマトペも提示することで、子どもたちの発想を引き出していく。</p>
まとめ 8分	<p>3 見付けた「わくわく」を発表し、本時の学習を振り返る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自信がなかったけれど、友達に伝わったから嬉しかったよ ・私が普段やらない動き方だったから、一緒に運動して楽しかったよ <p>4 整理運動を行い、後片付けを行う。</p>	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; background-color: #f0f0f0;"> <p>友達の動き方を手本にして移動している姿や発言を見取っていく。</p> </div> <p>※本時の活動で生まれた「わくわく」や自分や友達のよかったところを伝えることで、動き方の参考になるようにし、次時の活動へつなげていく。</p>